

第七回 社会福祉法人福成会 事業所実践発表会

アンケート結果

【アンケート総数63枚】

杭瀬福成園（生活介護）『構造化の手法を取り入れた支援』

内容： わかりやすい（49名） どちらでもない（9名） わかりにくい（0名）
発表時間： 短い（1名） ちょうど良い（55名） 長い（2名）

チャレンジ・コヤリバ（就労移行・B型・自立訓練）『利用者の自主性が見える化』

内容： わかりやすい（47名） どちらでもない（8名） わかりにくい（2名）
発表時間： 短い（3名） ちょうど良い（50名） 長い（0名）

ホーム武庫の里セントラル（共同生活援助）『24時間365日』

内容： わかりやすい（46名） どちらでもない（9名） わかりにくい（1名）
発表時間： 短い（6名） ちょうど良い（48名） 長い（1名）

サポートセンターまつば（生活介護）『強みを活かした支援と加齢に伴う支援』

内容： わかりやすい（48名） どちらでもない（5名） わかりにくい（0名）
発表時間： 短い（1名） ちょうど良い（47名） 長い（2名）

実践発表についての感想

家族

- ・短い時間の中で、3人の事例を出すには無理があるように思いました。結局3人の利用の事がぼやけてしまったように思いました。
- ・本人からの訴えにどうしているのか、訴えがわかりにくいときもあると思います。本人が何をしたいのか、何か言いたいのか、聞いてほしい。
- ・ビデオがあってわかりやすかった。
- ・以前に比べ、構造化・見える化が進み、利用者の方も過ごしやすくなったのではと思います。
- ・発表の中で、伝える言葉はどうなっているのかがみえなかった。
- ・一人一人に合った支援をしていただき、構造化を取り入れてもらって成長して安定しこれからが楽しみになりました。
- ・事例が自閉症のことばかりだったのでダウン症やほかの障害のこともあればよかった。
- ・構造化について作業をするときの工夫もあればよかった。

- ・ 支援員全員で利用者にかかわっていることが理解できました。
- ・ だらだら長いより例をあげ、それぞれの作業所で利用者に合った取り組みが発表を重ねることにより安心して子供を通わせられています。
- ・ 多人数の施設でどこまで個人を重視していけるのか。
- ・ 自分なりのチェックシート等工夫があり良かった。
- ・ もっとプロになってほしい。専門の勉強が必要でしょうか？
- ・ 利用者の自主性を重視されている感じがしました。
- ・ 発作の管理がいいと思った。
- ・ 個人の生活を大事に、本人が動きやすいように、また支援員も勤務しやすいようにしてほしい。
- ・ 支援員主導⇒本人主導 という考えが大変だとは思いますがすばらしいと思いました。
- ・ 常識に囚われている考えは、思った以上に自分に浸透しているのかもしれない。
- ・ 訪問診療ができるのがよいです。
- ・ 本人が望む GH を考えていただきたい。生活がみえなかった。
- ・ 利用者主導でルールを決めていくことは余計に利用者が混乱することに繋らないか？
- ・ 資料にタイムスケジュールの変更、訪問診察、支援を行ってみて、今後についての内容を書いてほしかった。いい内容だったが書き写せなかった。
- ・ 親亡き後のわが子の問題だと痛感しました。改善されていくので安心しました。
- ・ 土日、家に帰らない利用者がふえてくる時の対応など次回、またきかせてほしい。
- ・ 自立課題が仕事に結びついていることは、とてもうらやましい！
- ・ 加齢に対することは、どの園でもと思うので、他の園にも広げて行ってほしい。
- ・ 強みを活かした支援⇒数字での順番が理解できなかった利用者の方に対し、わからないままの作業から、わかる作業になるよう工夫され、すごいなーと思いました。
- ・ 本人の好きなことで結びつけての支援工夫、アイデアが良い。高齢化の配慮も前向きに取り組んでいるのがわかる。
- ・ 理学療法士の関わりで変わってきたことも、もっと聞きたかったです。
- ・ 障害を持つ子供たちでもいろいろな能力があるのですね。その能力を引き出して下さったことへ感謝です。
- ・ 個人個人の特徴をさがすのに苦労されている様子がよくわかった。
- ・ 若い方と高齢の方との体力差等は同じ施設の中でどう取り組まれているのか。

地 域

- ・ どんなに障害が重くても一人一人に願いがあるはずです。その思いを支援する側が読み取り、人間らしく生活できる場を提供していただきます。秘めたる能力を花咲かせる力を支援員が持てるよう学び続けていただけると嬉しいです。
- ・ 「今後について」のまとめがこれからも実践されることを期待しています。これからも GH のニーズは増えるばかりですから。
- ・ まつばの高齢化ということは親もかなりの年齢だし、いろんな場面で今まで以上の支援が必要かと思います。

- ・動画もあり、実際にご本人の笑顔を見ることができ、取り組みの成果がわかりやすかったです。
- ・一人一人のご利用者にあった説明の方法、チェックシート等、細やかな対応をされていることがよくわかりました。職員、利用者の方、それぞれの意見、考えがお互いやりとりされていて素晴らしいと思いました。

教育機関

- ・外部との連携により、専門性を高めておられるのを聞き、大事だなと思いました。
- ・困っていることを明らかにする(気づく)ことは、専門性と経験が必要なのだということがわかりました。
- ・就労に向け、具体的な支援の内容や取り組みがわかりました。
- ・高齢者に対する支援については、外部から講師を招いて研修を受けられるなど、熱心に取り組まれていることがよくわかりました。

公的機関

- ・動画を使った発表はわかりやすくてよかったです。
- ・もう少し苦労話をお聞きしたかった。
- ・本校も卒業後にGHを利用する生徒が在籍しています。選択の1つにお話をさせて頂きたいと思いました。

学 生

- ・図と映像がわかりやすかった。イメージしやすい。
- ・要点をもう少し書いてほしい。
p mにお風呂がいい人⇒年齢、障害 本人の考え方⇒その後の変化など
- ・自分達のイメージや決めつけによる固定観念があるなど実感しました。

従事者

- ・食事、あいさつ等、チェックシートを使うことでご本人の意識が変わったのはすごい。
- ・具体的な物の配置や環境が生活に与える影響の大きさを痛感しました。
- ・マニュアルを視覚化し、見易くなるのはとても参考になりました。
- ・一回の工夫で上手くいかなかったても、また考えたり強みを活かすのは大切ですね。
- ・もう少しアセスメント（フォーマルな部分）も含めてあればよかった。高齢の課題は同じですので、興味深く聞きました。高齢施設での連携は参考になりました。
- ・数字や矢印が順番と認識できず、上手く前に進めないという利用者はたくさんいると思います。今回路線図を使って上手く伝えることが出来たという報告がとても面白かったです。利用者の目線に立って関わることを改めて実感したかなと思います。
- ・取組み後、満足することなく振り返りと更なる支援力の向上を目指す気持ちが伝わってきました。
- ・一人一人に合った方法で支援されていることが伝わってきました。チェックシートを職員と利用者がそれぞれで行い、話し合いと取組みの材料となることが良いと思った。

- ・ 休日は好きにしたい⇒職員と同じ 支援者の都合 そこに立ち返ることができれば、利用者の当たり前で日常生活を送ることを実現できるのだと感じました。
- ・ 取り組み以前のアセスメントをしっかりと行っているのだろうと推測できます。発表以外の部分もしっかりと取り組まれていることが伝わってきました。
- ・ 主体性と強みを大切にしながら支援されている様子がよく分かりました。
- ・ 主体的に自分でできることを増やすためにチェックシートの活用等勉強になりました。
- ・ 個々のニーズに対して‘仕方がない’‘こういうもの’と決めつけてしまっている支援に反省しました。
- ・ 強みや興味のあるものを作業に取り入れられ楽しみながら商品づくりにつなげられ素晴らしいと感じました。
- ・ アセスメント、支援の実施、評価、再構造化を丁寧に行い、強みを生かした支援を行っていると感じた。
- ・ GHは利用者で作っていくものというお話を聞いて利用者主体の支援の大切さを改めて感じました。
- ・ 路線図で取り組みの順番を伝えるというユニークで強みをいかした支援が素晴らしい。
- ・ 何の運動をしているのかイメージしにくい。行動そのものの説明は理解できたが…
- ・ 話を聞きながら箱作業、マチ折りの関連が分かった。
⇒全体の説明が理解、イメージ化できた。
- ・ 伝えたいことが抽象的、内容もっと詳しくしてほしい。やっていることが当たり前すぎる。
- ・ 何かの行動に対して、なぜ？という思い、その人の立場に立って考えることは支援者として第一にすべきことだと改めて感じました。
- ・ 発作の記録票は、傾向を図るには参考になる。また作業の方法を伝える際には、本人の言っている言葉を使って伝えるという手法は相手の立場に立ってという意識は大切。
- ・ 固定概念にとらわれる危険性があるので、新しい発想やフラットな考えは大事であり、そのためにも事業所の職員は様々な価値観や環境を知っていく必要はあると思いますし、チームで取り組むことは大切だと改めて思いました。
- ・ 1度取り組み→評価→取り組み→再評価と細かく検討と評価を繰り返し実施していることがよく分かりました。また支援のきっかけを言われていたのもよいと思いました。
- ・ スケジュール→路線図→車庫のアイデアがおもしろかったです。
- ・ S S Tの取り組みを具体的に明示して下さるとよかったです。

次回の実践発表会の開催にあたり何かございましたらお書き下さい。

- パネルディスカッションの合理的配慮は、すごくわかりやすかったです。これからも、もっと地域の人を巻き込んだ実践発表会になっていけばと思います。
- パネルディスカッションは面白かった。次回もしてください。
- 各園の製品の展示があればよかったです。
- パネルディスカッション「合理的配慮」を考える 何の話かと思って待ってたのに…はじめの約8分間は必要な話ですか。コンパクトにまとめて本題に入ってください。非常にわかりにくい。
- 発表会の取り組みが自閉症の方が多い、他の障害のある方の取り組みも発表してほしい。
- 作業の構造化の発表をもっとしてほしい。
- 生活介護の事業所でも作業＝仕事の意識をもっと高めてほしい。
- 時間に余裕があり聞きやすかった。
- 資料にのっていないスライドが多かった。資料にページのコマをふってほしい。
- 重度の方に対応できる実践が聞きたい。
- 合理的配慮がこれから大事になってくると思いますので、ハード・ソフト両面にわたって意を用いていくように努力していきます。
- 福成会全体が常に「？」を持ち、常に向上心を持って利用者の地域生活の支援を行っていることが分かりました。
- 無料でまつばのような内容がきけるのであれば、他施設でも活かせるのでよいと思う。ほかの機関を活用しているのすごよかった。
- 1事業所ずつ特色をわけて事例を出しておりわかりやすかったです。
- 自閉症外の方の話もお願いします。
- 就労関係の発表がもう少しほしい。

その他

- 神奈川の事件、安心安全を優先する事を次回に何か検討されてはどうですか？
- とても素晴らしい取り組みだと思いますので、今後もぜひ継続していただけるとありがたいです。どなたでも参加できるところがとても良いと思います。関係者、家族だけでなく、別の事業所などの参加もされると学びも多いと思います。
- 実践ケースを各事業所内において全職員間での共有、継続していくことの問題点、課題はどのようなことがあるのか。